

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有成分	文献	症例	適用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	ProMED- mail20070604.1812	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2007; published on line first 23 Mayに以下の論文が掲載されている。1970年以降の英国における孤発性CJDに関する系統的研究のデータを利用し、非典型的な症例を分析した。その結果、思春期の孤発性CJD2例が同定され、死亡年齢は16歳と20歳であった。1例はBSE流行の前の症例であり、2例目の特徴は、実験的伝播試験の結果も含めて、vCJDというよりむしろ孤発性であるとの診断と一致した。孤発性CJDは非常に若い年齢で発症しうることが示された。
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	HPA/Health Protection Report 1(16) 2007年4月20 日	HPAIにより進行中の研究でマウスにおいて歯科組織にTSE感染性があるとの知見が得られた。この結果は歯科用鎮および歯根管拡張器がvCJD感染の伝播経路になりうることを示す。英国歯科担当長官は歯髄拡張器および鎮を全ての患者に対し、1回限りの使用にするよう全ての歯科医に文書で通達した。vCJD伝播リスクを減少させるための注意である。また全ての歯科用装置について最高基準の汚染除去を行うよう忠告した。
386	2007/08/20	70386	味の素	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	健康なブタの腸粘膜	中国	有効成分	無	無	無			
387	2007/08/22	70387	第一三共	フィブリノリジン、デオキシリボヌクレアーゼ	デオキシリボヌクレアーゼ	牛の臓臓	ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
388	2007/08/22	70388	第一三共	フィブリノリジン、デオキシリボヌクレアーゼ	フィブリノリジン	牛の血液	ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
389	2007/08/23	70389	化学及血清療法研究所	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分	有	無	無	クロストリジウム感染	YOMIURI ONLINE (2007年2月23日 読売新聞)	千葉県の船橋市立医療センターは22日、同県内の50歳代の男性が、主に牛の病気の原因とされる「気腫菌」に感染し、死亡したことを明らかにした。人への感染が報告されたのは世界初である。気腫菌は傷口などから動物の体内に入り、筋肉が壊死する「気腫症」を発症させる。同センターは、「気腫菌は人には感染しないというのがこれまでの常識だった。詳しい感染経路を調べるのが今後の課題」としている。
390	2007/08/23	70390	化学及血清療法研究所	乾燥人血液凝固第Ⅲ因子複合体 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅲ因子	血液凝固第Ⅲ因子	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	クロストリジウム感染	YOMIURI ONLINE (2007年2月23日 読売新聞)	70389と同じ